

令和3年度

学校評価・学校関係者評価

報告書



甲府市立笛南中学校

目次

本校の学校評価について	1
学校運営と評価改善の年間計画	2
笛南中学校経営方針	3
学校評価 自己評価のまとめ	5
今後の学校運営の方向性 別紙	7
学校関係者評価 結果	8

参考資料

①自己評価の根拠とした取組等の記述まとめ	9
②改善すべき内容や意見	11
③自己評価の数値集計表年間比較	13
④生徒保護者アンケートの分析	14
⑤【資料】生徒アンケート	18
⑥【資料】保護者アンケート	24

本校の学校評価について

本校の学校評価は、学校教育法および学校教育法施行規則に基づき、自己評価、学校関係者評価を実施し、学校運営の改善を進めるとともに、甲府市教育委員会に報告し、ホームページで公表する。

○学校教育法

第 42 条 小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。

○学校教育法施行規則

第 66 条 小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の評価を行うに当たっては、小学校は、その実情に応じ、適切な項目を設定して行うものとする。

第 67 条 小学校は、前条第一項の規定による評価の結果を踏まえた当該小学校の児童の保護者その他の当該小学校の関係者（当該小学校の職員を除く。）による評価を行い、その結果を公表するよう努めるものとする。

第 68 条 小学校は、第六十六条第一項の規定による評価の結果及び前条の規定により評価を行った場合はその結果を、当該小学校の設置者に報告するものとする。

参考資料

「学校評価ガイドライン[平成 22 年改訂]」文部科学省

「やまなしの学校評価推進のための手引書」平成 22 年 3 月 山梨県教育委員会義務教育課

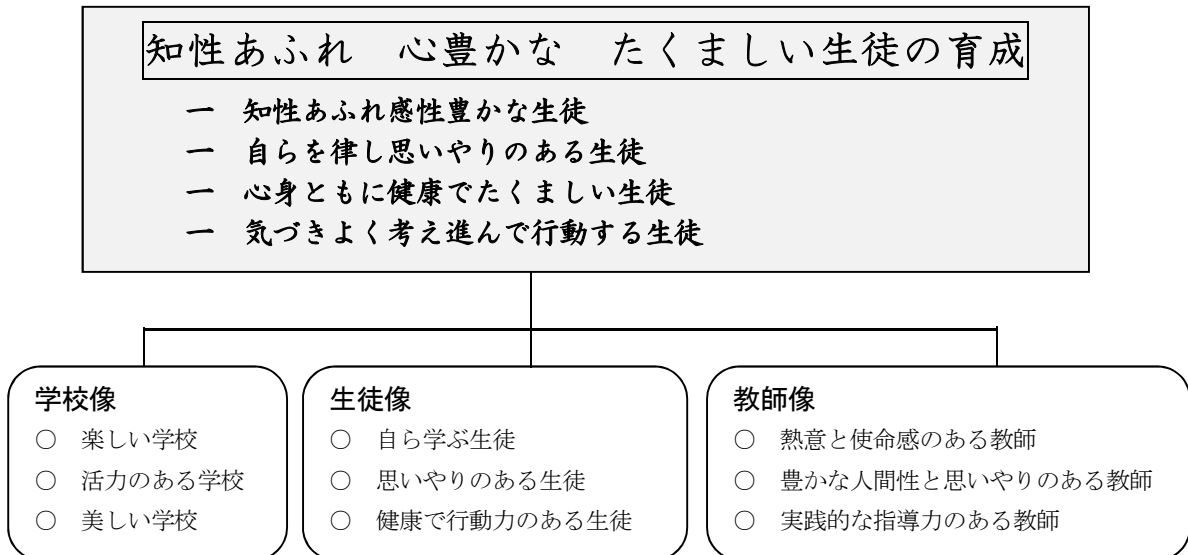
学校運営と評価改善の年間計画

県・市教育委員会		学校評議員	学校評価	人事評価	根拠資料等	保護者関係行事
4月	市 学校教育指導重点説明	入学式	学校経営方針 学校評価の説明 自己評価項目と指標の作成		前年度学校評価資料 企画委員会での検討内容	PTA新旧執行部会 第1回PTA役員会 PTA定期総会 学年PTA総会
5月	学校要覧・教育要覧の提出	学校評議員会 学校経営に関する意見集約	教職員の目標設定と取組の開始	自己観察書の作成 一次面接	拡大企画委員会による 評価項目と指標の検討	
6月			学校関係者評価の項目の設定と資料の作成	取組成果の観察・記録・指導		6月中旬授業参観・懇談会 6月下旬第2回PTA役員会
7月					学力把握調査の結果 期末テストの結果	7月上旬学校保健委員会
8月					全国学力・学習状況調査結果	
9月		学園祭への参加	教職員の改善の取組	研究授業等 成果の確認等		学園祭
10月				能力評価	中間テスト(9教科)の結果	10月上旬第3回PTA役員会
11月						合唱交換会
12月			生徒・保護者アンケート 自己評価 年間の学校評価のまとめと改善案		期末テストの結果	
1月			学校関係者評価の資料作成	業績評価		授業参観・学年懇談会 PTA役員選考会(2年生) PTA役員選考会(1年生)
2月		学校評議員会	学校関係者評価 今年度のまとめ ホームページで公表	評価結果の面接		新入学生徒保護者説明会 第4回PTA役員会
3月	中旬 学校評価報告書提出 下旬 次年度教育課程の提出 下旬 次年度年間指導計画の提出	卒業式	次年度への学校経営方針の作成・引継書の作成	評価結果の面接		

令和3年度 学校経営方針

甲府市立笛南中学校

1 学校教育目標



2 学校経営の基本方針

- (1) 適切な教育課程を編成し、P D C Aサイクルによる評価と改善に努める。
- (2) 分かる授業を目指し、生徒一人一人の確かな学力の向上に努める。
- (3) 明るく楽しい学校を目指し、いじめや不登校等の早期発見・早期対応に努める。
- (4) 学校安全や生徒指導などの危機管理体制の充実に努める。
- (5) 家庭や地域、小学校との連携を図り、信頼される学校づくりに努める。
- (6) 教職員相互の「信頼と和」を築き、互いに協力し支え合う職場づくりに努める。

3 本年度の県・市の指導重点

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりの推進による確かな学力の向上

「やまなしスタンダード」の深化 + 「甲府スタイル」の授業づくり

- ① 基礎・基本の定着を図り、学ぶことの楽しさを実感できる授業づくりに努める。
- ② 言語活動の充実に図り、思考力・判断力・表現力を身に付ける授業づくりに努める。
- ③ 「見通し」と「振り返り」のある分かる授業の実践に努める。
- ④ 個－集団－個の活用を図り、主体的・対話的な学習過程の構築に努める。
- ⑤ 自主学習ノート等の取組を通して、家庭学習の充実と学習習慣の確立に努める。
- ⑥ 考える力や記述力を高める設問と指導により学力向上のための授業改善に努める。
- ⑦ 教科の授業において ICT 機器を積極的に活用し、情報活用の実践力の育成に努める。

- (2) 自己実現を図る力を育む生徒指導と心の教育の充実～思いやりのある生徒

いじめを許さない集団づくり + 「思い遣る心」をもった道徳的実践力の育成

- ① 「道徳科」の授業実践と評価により、「心の教育」の充実に努める。
- ② あいさつ運動、朝読書、合唱活動、美化活動等の充実に図り、潤いある学校づくりを進める。

- ③ 社会性を育成する生徒指導を実践し、認め合い学び合う学級づくりに努める。
- ④ 生徒が理解し向上しようとする意欲につながる指導を心がけ、保護者と共に認め励ます指導に努める。
- ⑤ いじめ・不登校については、未然防止に重点を置き、早期発見・早期対応に努める。
- ⑥ 携帯電話、スマートフォン等のマナーやモラル、危険性について指導の充実を図る。
- ⑦ 生徒会活動、部活動の充実をはかり、好ましい人間関係の育成と体力・技能の向上に努める。
- ⑧ きめ細かな進路指導に努めるとともに、将来を見つめたキャリア教育を推進する。

(3) 自他を守り、命を大切にす健康・安全教育の推進～健康で行動力のある生徒

健康な生活に必要な資質等の育成・学校安全管理体制の充実 + **日々運動に親しむ習慣の確立**

- ① 授業や体育的行事等を通して進んで運動を実践する意欲を育て、体力向上を図る。
- ② がん教育をはじめとした健康課題への対応に努め、心身の健康の保持増進に取り組む。
- ③ 日常的に起きる事件・事故に際し、自ら安全な行動をとる能力を育む生活安全教育を推進する。
- ④ 自転車利用に関する指導を充実させ、危険予測能力を向上させる交通安全教育を推進する。
- ⑤ 非常変災時に地域安全の率先者となる資質・能力を向上させる災害安全教育を推進する。
- ⑥ 危機管理マニュアルを見直し、実践的な防災・防犯訓練を計画的に実施する。

(4) 自立を育む特別支援教育の体制づくり

「個別の教育支援計画」等の作成と活用 + **的確な実態把握に基づく個に応じた指導の充実**

- ① 生徒の実態に応じた適切な教育課程を編成し、一人一人を伸ばす指導と評価に努める。
- ② 「個別の教育支援計画」に基づき、生き生きと学習できる環境・授業づくりに努める。
- ③ 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒への合理的な配慮に努める。

(5) 家庭・地域社会・学区内小学校との連携の一層の強化

積極的な情報公開 + **保護者・地域住民の参加機会の充実**

- ① 「ふれあい活動」のねらいをもとに、日常的に交流を深めるPTA活動を展開する。
- ② 学校・学年・学級通信やホームページ等を活用し、積極的な情報提供に心がける。
- ③ 信頼される学校を目指し、家庭や地域に開かれた学校づくりを推進する。
 - ア「地域を知る」
 - ：『ふるさと山梨』等を活用して、郷土に誇りを持つ生徒の育成に努める。
 - イ「地域とともに学ぶ」
 - ：地域や保護者に授業公開するとともに、諸活動への地域人材の積極的な活用に努める。
 - ウ「地域に出て地域と関わる」
 - ：教育活動の場を地域に広げるとともに、地域行事等への生徒の積極的な参加を促す。
- ④ 合同研究会や授業交流等小学校との連携を強化し、円滑な接続や共通課題の解決を図る。

4 笛南中学校の指導重点

(1) 特別支援教育の知識を深め、通常学級の生徒を含め、学級経営の充実と適切な支援・配慮を行う。

- ① 支援計画・指導計画のもとに情緒自閉症学級、知的学級に在籍する生徒の支援を行う。
- ② ADHDの発達障害について知識を深め、その傾向のある生徒の支援を行う。

(2) 学習指導要領の趣旨を理解し、その実現に努める。

- ① 校内研究により計画的な教育課程の編成と完全実施に努める。
- ② 各教科の観点の内容と、評価の具体例をもとに授業実践を行う。
- ③ ②を人事評価自己観察書の「教科指導」に記し実践する。

令和3年度学校評価のまとめ

結論

本年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年度当初より主な行事の中止や変更、規模縮小等、昨年度と同様の学校運営をしなければならない1年間であった。また、「新学習指導要領」完全実施、G I G Aスクール構想に合わせた取り組み・実践等、様々な教育制度の転換に対する取り組みを進めてきた1年でもあった。

こうした状況の中、新型コロナウイルス感染症対策において感染者の拡大が昨年を上回る状況になってしまったので、「何ができるか」という前向きな発想が、めまぐるしく変化するコロナ禍によって実施・実現につなげることができないケースばかりであった。それにもめげず、先生方からは「次は」「次は」とアイデアを出し合い、目の前の子どもたちをどう育てるかという視点で学校運営にあたってきた。その結果、課題はあるものの、学校長より示された6項目の学校経営方針の指導重点について、全職員が協働して取り組んできたことが分析できる。

人事評価の目標設定、面談等による、指導重点・具体的施策の周知、また、個々の教員の責任や役割分担を明確化し組織運営を重視したこと、行事等における優先すべき教育内容を明確にして取り組んできたことによるところが大きい。これらのことは、目標を明確にすることで、教職員が焦点化された教育活動を進めることが可能となったからであろう。

総括的な評価項目（回答A）として、「校長が示した学校経営方針に基づいて学校運営がなされているか」については、全職員が「取り組んでいる（「ある程度取り組んでいる」も含む）」と評価した。同項目の「あなたは取り組んでいるか」（回答B）の回答値についてもほとんどの職員が「取り組んでいる（「ある程度取り組んでいる」も含む）」と評価した。回答平均値については昨年度と同等あるいは少し下がっている状況になっているが、コロナ禍の中取り組みきれなかったことが多かった状況や、もっとできたのではないかと厳しく評価した教員の姿があると思われる。ただ、個々の教員の指導の充実と、学校組織の活性化については十分図られていると判断できる。

以下に、「職員による自己評価アンケート」及び参考資料（「生徒アンケート」「保護者アンケート」）より明確となった、指導重点ごとの成果と改善すべき課題について示す。

指導重点（1）学ぶ意欲を高める授業づくりによる確かな学力の向上

○校内研究と連携し、授業改善に関わって、「課題設定」「発問」「振り返り」について、新学習指導要領に基づいた「評価」と関連付けた取り組みが行われた。特に振り返りについては、生徒が意欲的に取り組んで行けるよう、生徒の振り返りシートを掲示するなどしたことで、生徒の学習意欲を高めていくことができた。きめ細かな学習指導については、限られた時間の中で、生徒の課題となっている内容の克服を目指し、可能な場面において実施することができた。自主学習ノートについては、個々の差がやや広がってしまっており、習慣化・質的な充実が今後の大きな課題となっている。

・「目標設定と見直し・ふりかえりの場面を設定した授業改善」について、OPP（ワンペーパーポートフォリオ）や小テストの実施、生徒の振り返りシートの掲示等、多くの職員が改善に向け生徒の意欲を高める働きかけを行ったので、自己評価からも教師の意欲的な様子を見取ることができる。生徒のアンケート結果からは「授業の終わりに自分の目標達成を確認している」と回答した生徒が、昨年度と同様5割に満たず、向上したとはいえない状況である。甲府スタイルにもあるように、目標設定を生徒のものにするためにも、いかに生徒に課題意識を持たせるか、教師の働きかけの更なる工夫が求められてくる。そうすれば、必然的に振り返りの意識づけにつながり、生徒が常に自分自身の姿を見詰めることにつながるので学力向上に結びついていくと思われる。校内研究と関連付けて、具体的にアプローチしていく必要がある。

・学力向上策としての学習指導員加配を活用は、特に特別支援学級において功を奏している。T Tでの学習環境が整い、特別支援教育の視点から、個の特性に合った個別学習の場面を授業において作り上げている。

・自主学習ノートについては、小中の連携の中で継続して指導してきた経緯があるが、現状、学年差、学級内個人差が広がってしまっている。多くの生徒が習慣化できているのだが、個人差をどのように解消していくか、学年・学級経営を中心に習慣化を目指した働きかけが課題となっている。

指導重点（2）自己指導能力を育む生徒指導と心の教育の充実

○全ての職員が学校の教育活動全体を通して、生徒理解と道徳的实践力を身につけさせる指導を行っている。それに対し、生徒の学校生活に対する満足感を見ると、2割弱の生徒が満足感を得られていないという状況が見られている。基本に立ち返り、生徒理解・個に応じた指導の充実の視点から見直していく必要がある。

・教員サイドとしては、全学級で道徳の授業が実践され、キャリア教育の充実や情報モラルの向上等、日常的に「思い遣る心」の育成に向けた指導が行われていることが覗える。生徒アンケートからは、「学校へ行くことが楽しい」と感じていない生徒、及び、友人や教員に対して信頼感を十分に持てない生徒が2割弱いるという認識のズレが感じられる状況が見られている。これは、教師側のねらいと生徒側の意識や学習経験との間に大きな差・ズレが出ていると言える。生徒理解の上に立った指導方針・内容の検討を行い、学級経営の工夫と改善を中心に、計画的・継続的指導を行っていく必要がある。

指導重点（３）「自他を守り、命を大切に健康・安全教育の推進」

○本年度も、年間を通じた感染症拡大防止に向けた徹底した取組が進められた。ただ、コロナ禍が長く続いているため、生徒の命や健康を守るための意識がやや薄れていると感じられる場面も見受けられた。長期間の対策・取り組みに対する意識付けを考えていくことが必要になる。また、洪水時の避難場所への移動訓練や予告なし避難訓練の実施等により、緊急時の避難方法に関する防災意識の向上を図ることができた。今後も継続的・計画的に具体的な方策を持って取り組む必要がある。交通安全指導・安全教育に関わっては、今後も継続的な指導が必要となる。

・感染症対策については、全職員が高い意識をもって指導に当たることができた。多くの生徒が安心・安全に対する意識を強め、危機感を持ちながら感染症対策に関するスキルを向上させることができた。

・本校は洪水・地震等自然災害発生時には被害想定値の大きい地域であり、さらに交通事故の危険性も高く、防災意識の育成及び安全教育の充実が必要不可欠である。本年度は、「洪水時の避難場所の確認」「地震を想定した引き渡し訓練」「火災を想定した予告なしの避難訓練」を実施した。洪水対策としては図上訓練を行うにとどまったが、地域の特性を考えると、垂直避難訓練の実施の必要性がある。生徒は訓練の意義をしっかりと理解し、課題意識を持って取り組んだ。自分の判断で避難行動、自助・共助行動がとれるよう、訓練内容の工夫を検討していく必要がある。

指導重点（４）「自立を育む特別支援教育の体制づくり」

○本年度も、特別な支援が必要な生徒に対して専門家や関係機関を交えたケース会議を実施し、各機関の役割分担の明確化を図りつつ特別支援教育の充実をめざした。授業においても、授業者、特別支援教育支援員、学習指導員の協働体制のもと、1対1の個に応じたきめ細かな指導を行ってきた。さらに、通常学級において学習課題を抱える生徒に対しては、補習・放課後学習会等を可能な限り実施し、きめ細かな対応をとってきた。ただ、放課後の活動に制限に係る時期もあり、十分な支援が行えたとは言いがたいが、成果は着実に出てきている。個別の支援計画・指導計画に基づく指導と評価については、教師間の情報交換を密にしつつ、さらに改善を目指していきたい。

・小規模校である利点を生かし、臨機応変に校内委員会やケース会議を実施し課題の共有や取り組みの改善を図ったことにより、組織的な指導体制を構築することができた。学校評価項目の「個別の支援計画、指導計画を作成し、計画的に社会的な自立にむけた支援の場面を設定しているか」についての回答では、「学校として取り組んでいるか」の問いに対して、全員が「取り組んでいる（ある程度を含む）」と回答している。同項目の「あなたは取り組んでいるか」の問いに対して、「取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」「やや不足している」の回答が同じ割合になっており、生徒の実態に即した指導内容と適切な評価のあり方等について、十分周知・徹底ができていないと考えられる。「障害の共通理解」「個別の支援計画や指導計画の共有」の上での教育実践や評価のあり方などについて検討していくことが求められる。

指導重点（５）家庭・考えられる地域社会・学区内小学校との連携の一層の強化

○本年度も、感染症対策のためほとんどのPTA活動や地域との連携行事（職場体験、小中合同研修会、中道ふれあい祭、地域防災訓練等）を実施することができなかった。こうした状況下、保護者の学校行事へ参加していただく機会の確保のため、学園祭の時期をずらして1日開催で実施し、生徒の姿や学校の様子を見ていただく機会をつくることができた。また、学校からの情報発信という視点で、ホームページの更新をこまめに行い、生徒の姿や学校の様子を公開することができた。学校だより及び学年・学級通信の発行とあわせ、情報提供が確実に図られたことも成果としてあげられる。本校の利点を生かしながら家庭・地域との連携を推進したい。

・保護者アンケート（参考資料）からは、8割以上の保護者が「学校行事へ積極的に参加している」「各種便りで生徒の様子を適切に伝えている」と回答している。昨年度から若干ポイントを下げているものの、家庭との連携は、コロナ禍の中でも十分に図られていると考えられる。

・中道地区の小中学校では、従来から3校で協議し、地域の特色を生かした9年間の系統的な教育活動を推進してきた。7年前から家庭学習とあいさつの習慣化に取り組み、夏季休業中には「小中合同研修会」を開き、地域の子どもを育てるという視点で取り組んでいる。共通のめあての設定、自主学習ノートの継続的な実施など、同一の取り組みにより児童生徒の資質能力の育成に重要な役割を果たしていることが保護者アンケートからも覗える。一方で、家庭学習の時間が1時間未満以下（やっていないを含む）の生徒が昨年より減少しているものの1割強程度いるので、小中連携、家庭との連携による取り組みの継続・強化が必要である。

指導重点（６）その他（今日的課題への対応）

○新学習指導要領の全面実施を目前に控え、外部講師を招いての学習会や環流報告、授業研究等、研究主任を中心に計画的に校内研究が推進された。また、GIGAスクール構想を見据え、職員のICT活用能力及び活用指導力の育成にも力を入れた。次年度以降、授業研究を柱としたより実践的な研究へと発展的に継続し、各教員の資質・能力の向上、学校全体の教育の質的向上につながるよう工夫したい。

- 新学習指導要領全面実施、GIGAスクール構想を見据え、校内研究を中心に「主体的・対話的で深い学び」及びICTを活用した「個別最適化した学び」に向けた授業改善を推進する。
 - ・授業では、学習目標に対する自己評価や、学習内容の確認方法の工夫（小テスト等）を推進し、生徒の発言力や文章力、粘り強く学習に取り組む態度等の育成に力を入れる。
 - ・新たな3観点評価を適切に行うことにより、生徒の学習改善、教員の指導改善を図る。
 - ・各種研修会等を通し、職員のICT活用能力及び活用指導力の向上を図る。（必要に応じて、オンライン授業の実施等に対応できるようICTの有効活用について準備を進める。）

- 生徒指導と心の教育の充実を図る。
 - ・全ての生徒の居場所づくりに向け、道徳教育・人権教育・キャリア教育等、学校の教育活動全体を通して教科等横断的に実践する。
 - ・学級経営を中心に、集団への指導（ガイダンス）と個に応じた指導（カウンセリング・教育相談を含む）の双方により生徒の発達を支援する。

- 自立を育む特別支援教育の体制づくりを一層充実させる。
 - ・校内委員会・ケース会議を臨機応変に行うことにより、個別の支援計画・指導計画の共有と、合理的配慮の内容見直し等を継続的に行う。その上で、個々の生徒の教育的なニーズを可能な限り把握し、個に応じたきめ細かな指導を推進する。

- 家庭・地域社会・学区内小学校との連携を一層強化する。
 - ・小学校との連携については、3校で確認された事項をもとに、授業規律や生徒指導上の確認事項などを意識して取り組んでいく。
 - ・家庭学習が習慣化していない生徒に対し、保護者と連携する中で、家庭学習について連絡確認をしつつ、自主学習ノートの習慣化に努めていく。

学校関係者評価

期 日 令和4年2月4日(金) 15:00～16:30

会 場 笛南中学校 校長室

学校関係者	笛南中学校学校評議員	元市川小学校校長	志村 文夫
	笛南中学校学校評議員	元御坂中養護教諭	青木富貴子
	笛南中学校学校評議員	昨年度 PTA 会長	梶 忠生

【 総 論 】

学校長のリーダーシップのもと、全職員の共通理解のもと、学校経営方針に基づいた学校運営がなされている。特に、特別な支援が必要な生徒に対する合理的配慮や、個に応じたきめ細かな学習指導に対する働きかけがとても充実している様子が視える。

一方で、学校生活に楽しさを感じていない生徒や表現力・積極性の評価が低くなっている状況、さらには内に秘めてしまい感情を出さない子どもたちが増えている傾向が見受けられるので、学校での居場所づくりや目標づくり、行事や活動等を見直す中で、生徒が自分を解放できる場面の設定を考えていっていただきたい。楽しさの中から、子どもたちの積極性ややる気を育てていけるので、新型コロナウイルス感染症の影響下ではあるが、「何ができるか」「何が可能か」の視点から小さい取り組みや活動に目を向けていっても良いのではないかと。そして、子どもたちの元気さや活力を育てる指導を行って欲しい。

【学校運営の状況】

生徒の減少により、学校の運営が厳しくなっていると思っていたが、実際には小規模校の利点を生かし改善が図られていて安心した。特に、情報共有による職員の同一歩調での指導が重要となるため、引き続ききめ細かで丁寧な指導を続けていただきたい。また、スクールカウンセラーを有効に活用していくことも重要な視点となる。

【教職員の指導・管理の状況】

授業改善の取組については、学校長が授業づくりの方針を明確に示しているため、生徒のアンケート結果と、教職員の自己評価結果から教職員の努力する姿勢が見られる。さらに組織的・継続的な働きかけをお願いしたい。また、今年度、端末を活用した生徒の学習保障の取り組みが行われたそうだが、運用上の課題やご苦労があると思う。社会の変化や必要性により、今後も課題を克服しつつ着実に進めてもらいたい。

【家庭・地域との連携協力の状況】

少子化によって、学級数減少や教職員数の減少のため行事の見直しや部活動の見直しを図らなければならない。同時に、地域との連携を強化しながら、新規入学生を増やす取組を進めていただきたい。

笛南中の生徒は地域住民にもよくあいさつをしてくれる。コロナ禍の制約の中でも、笛南中学校の良さを、小中学校の連携を深めつつ、継続していただきたい。

学校評価の自己評価において、根拠とした取り組み等の記述まとめ

<p>学校長が示した学校経営方針に基づいて学校運営がなされているか</p> <p>(下記指導重点を総括して評価する)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 適切な教育課程の編成や授業改善への取り組み、また、家庭や生徒との対応など、職員が協力し合って日々の課題と向き合ってきたと思う。 職員会議や校内研で取り組み状況について確認し、成果と課題を明らかにしていく。 生徒に対してよりよい教育活動ができるよう、日々取り組んでいると思います。 生徒指導についての情報発信や計画立案を行う。いじめや不登校等の早期発見・早期対応を行う。授業においてPDCAサイクルによる評価と改善に努める。 主体的・対話的で深い学びを意識した授業作り 生徒会活動、部活動の充実 諸問題について他の教職員と共有し学校全体で取り組んでいる。 思考能力・表現力を高め、学力向上となるような授業が多い。SCの活用やいじめアンケートなどができている。
<p>自主学習ノート等による学習習慣の確立と目標設定と見直し・ふりかえりの場面を設定した授業改善に取り組んでいるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の確立という意味でも1年生の頃から徹底させてきた取り組みであり、毎日提出されている。何名か忘れる生徒ややってこない生徒がいるが、何らかの方法でその日の分の課題が提出される。桑の実学級の生徒も、毎日欠かさず取り組んでいる。 実施状況を確認して支援している。 毎日の自主学習を習慣としている。 授業のめあての設定と作業の振り返りを行っている。 自主学習ノートの取り組み 毎回ではないが目標設定と見直し、振り返りを入れるようにしている 「教科」、「総合的な学習の時間」のワークシートなど見直しと振り返りができるように計画して学習に取り組んだ。「小集団」で取り組ませられるような題材の設定を行った。 毎週火曜日と水曜日に生徒が自主学習をしたノートやワークを提出させている。授業プリントに「振り返り」の欄をもうけ、各授業ごとの終わりで生徒がその分野をまとめさせている。単元が変わるごとに、「学びの記録」というプリントを用いて、その単元でやる内容が関わってくる日常の疑問に学習前に答えてもらい、単元の学習後に復習と設問の答えを自分たちで考えてまとめさせている。
<p>適切な生徒理解と居場所づくりを進め、「思い遣る心」をもった道徳的実践力を身につけさせるとともに、学校生活の中で発揮させる場面を設定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の特性等を理解し、様々な面で早期対応を心掛けてきた。 職員会議など校内で統一した共通理解と指導方針に基づき組織的に勧めている。 生徒の課題にあった教材を選び、道徳の時間に考えさせている 生徒への声かけや話を聞くこと。「思いやり」がない場面では必ず生徒に声をかける。 学級の中で1人1人に役割を与え、周りのことを考えながら活動させるように心がけました。 授業や集会の折、通信等で「相手を思いやる」「人との関わりかた」「平和」について生徒と一緒に考えた。休みがちな生徒に対しての声かけや、保護者が安心して生徒を登校できるようにできる限り学校内においてできる支援を管理職と相談しながら行った。 道徳の授業ではワークシートに書いてくれた良い意見やおもしろい意見を次の授業時に紹介している。

<p>安心・安全に関する知識を習得させ、自助・共助できる能力と態度を育成する場面設定をしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の安心安全な生活や危険予測に関わる事柄について、時期を考えながら話をしたり、考えさせる場面を設定してる。また、教科の課題にそのようなテーマがある際には、活用している。 ・地域と一層の連携を図り積極的に情報を発信していく。 ・避難訓練の場面などで、過去の震災を振り返りながら指導している ・避難経路や適切な避難行動、事故が起こったときの対処などを確認している。 ・保健体育での授業 避難訓練 道徳 ・特に下校指導やヘルメットの着脱について生徒指導主事と連携しながら行えた。 ・理科の授業では防災に関連のある内容だった場合（災害が多い）、その怖さやどのような対処法をするべきかを教えている。薬物乱用防止教室などの講習会を開いている。
<p>個別の支援計画、指導計画を作成し、計画的に社会的な自立にむけた支援の場面を設定しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の生徒はもちろんのこと、通常学級の生徒についても情報共有をし、それぞれの生徒への手立てについて検討している。 ・個別の支援計画や指導計画を共有して、自立への支援を行っている。 ・問題を抱える生徒に対して個別に対応している ・指導記録を作成している。記録を元に指導方針を立てている。 ・個々の生徒の関係諸機関と連携したことを校内で共有化して支援している。 ・生徒の実態に沿った教材の提示など特別支援学級の指導者同士共有化して実践することができた。
<p>家庭や地域との連携、小中連携を進め、開かれた学校づくりを推進しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同での会議はなくなったが、必要に応じて小学校の先生と連絡を取っている。また、保護者からの要望には、積極的に応じている。 ・定期的な小中の連携会議や情報の伝達を行っている。 ・学年通信での情報発信 送迎の保護者との対話 ・家庭への連絡 学級通信の発行 ・総合的な学習の時間を通じて「郷土を愛する」気持ちが育めるような課題を提示し、学習に取り組んだ。
<p>今日的な教育課題への対応を具体的に進めているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において、生徒が主体的に取り組める内容を考え取り組んでいる。 ・教頭や情報主任が国、県、市が作成している情報を提供している。教科担当は必要に応じて積極的に活用を行っている。 ・校内研修会を通して、教員が考えたり研修したりする時間をとって共通理解をしている ・SNSへの対応や、クロームブックの取り扱いについて ・生徒が「主体的」に学ぶ意欲が喚起できるような教材を提示することができた。 ・コロナ禍で実験があまりできなくなっているため、実験の動画や図や動画がないとわかりにくい単元は教師用指導書に付属しているソフトを用いて授業を行っている。

改善すべき内容や意見

<p>学校長が示した学校経営方針に基づいて学校運営がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの先生方が、笛南中のために...で、動いていました。共通理解のもと、日々の課題に取り組めるといいと思います。 ・感染症対策のため、学校生活の変更を余儀なくされた。不易と流行を取り入れながら大幅に変えていくべきことも求められている。 ・学級通信などでも学校経営方針についての内容を発信するとより周知されるかと思っています。 ・全体的に意識しながら取り組んでいると思います。今年度の課題点を来年度改善していけるとさらにより笛南中学校になっていくと思います。 ・基本的には方針に沿った運営がされていると感じます。
<p>自主学習ノート等による学習習慣の確立と目標設定と見直し・ふりかえりの場面を設定した授業改善に取り組んでいるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのクラスも同様に取り組むことで、成果につながる内容であると思う。 ・授業改善に向けての研修や研究会への積極的な参加と校内への還元を図る ・自主学習の提出には至っているが、内容が薄い生徒がいる。 ・作業・実習についてはいいが、その他についてはみとりを含めて改善が必要と思う。 ・自主学習ノートに取り組ませているがただやるだけではなく質にも拘って取り組ませているとよいと思います。 ・各担任へのアプローチが不足しているため、自主学習や放課後学習会など、学年独自の取り組みにおいて担任から生徒に取り組ませるような喚起が不足している。 ・生徒からは塾や家庭教師などで学習をした際に、どのように自主学習ノートを提出するかが質問として多かったため、適当なノートに学習した範囲を書いてくれれば自主学習をしたと見なすと説明したが、実際に自主学習をしたかどうかが見えないのでどのように自主学習をしたか評価するのが難しい生徒がいる。
<p>適切な生徒理解と居場所づくりを進め、「思い遣る心」をもった道徳的実践力を身につけさせるとともに、学校生活の中で発揮させる場面を設定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が常に連携を図り共通理解を図っていくことが大切。 ・道徳の授業が日常の行動と結びつかないことがある ・共通理解の元、同一歩調で取り組めたらと感ずることがある。 ・個性の尊重を重視するようになったため自分中心の生徒が多くなったように感じます。もちろん自己肯定感は大切ですが、「思いやり」とバランス良く育てていけるとよいと思います。 ・道徳の授業の改善や道徳の授業を互いに見合うことも必要であると感じます。2学期に実践していただいた、小後貫先生と渡辺先生による道徳の授業も新鮮でした。 ・ここ最近では生徒会選挙の練習や面接練習で2、3年生の道徳が無かったことを生徒から聞いたので、道徳の授業ができていないと感じました。
<p>安心・安全に関する知識を習得させ、自助・共助できる能力と態度を育成する場面設定をしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対策を行いながらの学校であるが、情報の発信と収集を的確に行うため、保護者や地域住民が教育活動の参加できる体制を創る。 ・訓練に臨む気持ちを十分につくることができないことがある ・実際に起こったときに対処できるように訓練ができるといいが、やけどやケガについて授業内で行うことが時間的に厳しい。 ・様々な場面で教えていけるとよいと思います。 ・静岡の教育では防災がかなり重要視されており、大学でも基本的に全員参加の防災訓練がありました。それと比較すると、山梨県の防災教育が少なかったり、防災訓練の規模が小さかったりと感じました。

<p>個別の支援計画、指導計画を作成し、計画的に社会的な自立にむけた支援の場面を設定しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な支援に関する情報交換と支援計画に見直しを作成していく。対応について共通理解がされていない部分がある。 ・共通理解をさらに進める。 ・特別支援学級の生徒にとどまらず、支援の必要な生徒が多くなってきている。本校の生徒の実態に合った支援の方法を学ぶ（インクルー教育）場をもうけても良いのかと感じます。 ・桑の実Bの生徒に向けたテストの配慮などを行っているが、まだ国語と英語のみなので、理科もある程度考慮してテスト作成に臨みたいと思います。また、授業ではまだ余裕がなく、桑の実Bの生徒向けに別途プリントを作るなどができていないため、今後は対応をしていきたいです。
<p>家庭や地域との連携、小中連携を進め、開かれた学校づくりを推進しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事への参加についてできることから徐々に広げていく。 ・今年度はコロナウイルスの影響でなかなか難しいことが多かったと思いますが、笛南中学校は保護者の協力や行事の参加率が高く連携できていると思います。 ・コロナ禍で地域と連携した授業や職場体験ができなくなっているため、今後コロナが収束して安全になっていけば、家庭や地域との連携が増えていくと思います。
<p>今日的な教育課題への対応を具体的に進めているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の振り返りシートを玄関に掲示するなど、全校体制で、主体的な学びにつながるための取り組みを進めることができたと思う。 ・ICTの活用が授業にとって有効であり、効果的となっているかどうかの検証が必要となる ・4月以降のPC持ち帰りについて対応する。 ・目の前のことをこなすので精一杯になってしまいなかなか思うように取り組むことができていません。 ・クロームブックを用いた授業が増えてきていてICTの活用が進んでいると感じます。ICTの活用が進むと普通の授業ではなかなか意見を言えない生徒の意見や考えを確認できるので、学習の評価をしやすくなると思います。自分の授業ではまだまだ活用できていないと感じるので、ジャムボードなどの活用方法などを学び、ICTをさらに活用した授業を展開していきたいと思います

令和3年度 学校評価 自己評価の数値集計表 年間比較

	R2集計								R3集計								増減						
	平均値	平均値のA-B	わからない	取り組んでいない	やや取組が不足している	ある程度取り組んでいる	取り組んでいる		平均値	平均値のA-B	わからない	取り組んでいない	やや取組が不足している	ある程度取り組んでいる	取り組んでいる		平均値	平均値のA-B	わからない	取り組んでいない	やや取組が不足している	ある程度取り組んでいる	取り組んでいる
A 学校として取り組んでいるか	学校長が示した学校経営方針に基づいて学校運営がなされているか (下記指導重点を総括して評価する)	4.0	0.6	0	0	0	0	10	3.6	0.4	0	0	0	3	4		-0.4	-0.2	0	0	0	3	-6
	自主学習ノート等による学習習慣の確立と目標設定と見直し・ふりかえりの場を設定した授業改善に取り組んでいるか。	3.7	0.4	0	0	0	3	7	3.6	0.4	0	0	1	1	5		-0.1	0.1	0	0	1	-2	-2
	適切な生徒理解と居場所づくりを進め、「思い遣る心」をもった道徳的実践力を身につけさせるとともに、学校生活の中で発揮させる場を設定しているか。	3.8	0.2	0	0	0	2	8	3.3	0.1	0	0	0	5	2		-0.5	-0.1	0	0	0	3	-6
	安心・安全に関する知識を習得させ、自助・共助できる能力と態度を育成する場面設定をしているか	3.5	0.2	0	0	0	5	5	3.1	0.0	0	0	0	6	1		-0.4	-0.2	0	0	0	1	-4
	個別の支援計画、指導計画を作成し、計画的に社会的な自立にむけた支援の場面を設定しているか	3.8	0.6	0	0	0	2	8	3.5	0.5	0	0	0	1	6		-0.3	-0.1	0	0	0	-1	-2
	家庭や地域との連携、小中連携を進め、開かれた学校づくりを推進しているか	3.7	0.5	0	0	0	3	7	3.7	0.7	1	0	1	2	3		0.0	0.2	1	0	1	-1	-4
	今日的な教育課題への対応を具体的に進めているか	3.9	0.7	0	0	0	1	9	3.6	0.8	0	0	0	3	4		-0.3	0.1	0	0	0	2	-5
B あなたは取り組んでいるか	学校長が示した学校経営方針に基づいて学校運営がなされているか (下記指導重点を総括して評価する)	3.4		0	0	0	6	4	3.1		0	0	0	6	1		-0.3		0	0	0	0	-3
	自主学習ノート等による学習習慣の確立と目標設定と見直し・ふりかえりの場を設定した授業改善に取り組んでいるか。	3.3		0	0	0	6	3	3.1		0	0	0	6	1		-0.2		0	0	0	0	-2
	適切な生徒理解と居場所づくりを進め、「思い遣る心」をもった道徳的実践力を身につけさせるとともに、学校生活の中で発揮させる場を設定しているか。	3.6		0	0	0	4	6	3.1		0	0	0	6	1		-0.5		0	0	0	2	-5
	安心・安全に関する知識を習得させ、自助・共助できる能力と態度を育成する場面設定をしているか	3.3		0	0	0	7	3	3.1		0	0	0	6	1		-0.2		0	0	0	-1	-2
	個別の支援計画、指導計画を作成し、計画的に社会的な自立にむけた支援の場面を設定しているか	3.2		0	0	1	6	3	3.0		0	0	2	3	2		-0.2		0	0	1	-3	-1
	家庭や地域との連携、小中連携を進め、開かれた学校づくりを推進しているか	3.2		0	0	0	8	2	3.0		0	0	2	3	2		-0.2		0	0	2	-5	0
今日的な教育課題への対応を具体的に進めているか	3.2		0	0	0	8	2	2.9		0	0	1	6	0		-0.4		0	0	1	-2	-2	
	令和2年								令和3年								増減						
	3.8	回答数A	0	0	0	16	54	3.5	回答数A	1	0	2	21	25	-0.3	回答数A	1	0	2	5	5	-29	
	3.3	回答数B	0	0	1	45	23	3.1	回答数B	0	0	5	36	8	-0.3	回答数B	0	0	4	9	4	-9	-15

1 生徒のアンケートから

①授業と学習について（全9項目）

<肯定的な回答が80%以上の項目>

- ・授業前に勉強用具を準備していると思う。
- ・授業で取り組んだことは、社会に出て役立つと思う。
- ・私は、授業ノートを必ず書いている。

<肯定的な回答が60%以下の項目>

- ・私は、積極的に手を上げたり意見を言ったりしていると思う。
- ・私は、授業の終わりに自分が目標を達成できたか確認していると思う。

<数値には表れないが心配な項目>・・・昨年度から減少してしまった

- ・授業の初めにこの時間に達成する目標がわかっている。

<考察>

昨年度と比べると、授業に対する肯定的な回答は4項目から3項目に減少し、消極的な回答は2項目で変わらなかった。細かく分析すると、「授業の初めに目標がわかっている生徒」が77%とわずかではあるが減少してしまった。そのためか、「授業の終わりに自分が目標を達成できたか確認している」生徒の割合が昨年度同様に5割程度となってしまう。学習の目標に対する意識付けを更に意識した授業作りが求められると考える。

一方で、発言力や表現力関わる能力育成については昨年度から変化がなく、今後の授業改善の指導重点として捉えたい。また、「自分の考えをまとめること」、「粘り強く学習に取り組むこと」、「作文を書くこと」の肯定的な回答割合が他の項目と比べると低い傾向があることから、あわせて今後の課題としたい。

②家庭学習について（全4項目）

<肯定的な回答が80%以上の項目>

- ・定期テスト前の学習をきちんとしている

<肯定的な回答が60%以下の項目>

- ・本年度もなし

<数値には表れないが心配な項目>

- ・家庭学習を、1日平均1時間以下またはしていないと回答した生徒の割合=16%。

<考察>

「家庭で必ず宿題をしている」が76%と昨年度と比べて下がってしまったが、家庭学習については概ね定着している様子が窺える。家庭学習を1日平均1時間以下またはしていないと回答した生徒の割合は、H31が28%、昨年度は22%、そして今年度は16%と減少してきており、家庭学習が徐々に定着してきている傾向が見られる。

本校では、学区内に笛南中学校区地域課題研究会（笛南中・中道北小・中道南小）を設置し、情報交換や同一の取組・研修等を実施し、9年間の義務教育を見通す中で児童生徒の育成を図っている。家庭学習の定着については、この会の中でも重要視され、数年前から自学ノートの実践を小中合同で進め一定の成果を上げてきた。一方で、「1日の家庭学習時間が1時間以下・していない」生徒が2割弱程度いることから、すべての生徒に家庭学習を定着させられるよう、家庭とさらに連携していく中で改善を図っていききたい。

③学校生活について（全6項目）

<肯定的な回答が80%以上の項目>

- ・ほぼ全ての項目（昨年同様、友人関係等の悩みが79%）

<肯定的な回答が60%以下の項目>

- ・昨年度0→本年度0

<考察>

ほぼ全ての項目において肯定的な回答が80%を越えていることから、学校生活への満足度は高く、ほとんどの生徒が充実した学校生活を送っている様子が窺える。

一方でアンケートから少数ではあるが学校に行くことを楽しいと感じていない生徒（15%）

や、教員との良好な関係を構築できていない生徒（11%名）の存在も明らかとなった。今後は、今まで以上に注意深く子どもの様子を見守り、個に応じたきめ細やかな指導を行うことが必要となる。

④家庭生活について（全5項目）

<肯定的な回答が80%以上の項目>

- ・家庭では、いつも明日の学習の準備をしている。
- ・家族とたくさん話をする機会がある。

<肯定的な回答が60%以下の項目>

- ・昨年度0→本年度0

<数値には表れないが心配な項目>

- ・毎朝自分で起きている。70%
- ・両親には、ほめられることが多い。71%

<考察>

傾向としては、家族との会話の機会が多いことや翌日の学習の確実な準備等、家庭生活が安定している様子が窺える。

ただ、「朝自分で起きられない生徒」「両親にほめられることが少ないと思う」という生徒が3割程度みられている。他の項目に比べこの数値が若干高くなっているため、家庭生活での課題を感じる。私たち大人が生徒との関わりの中で良さを見つけ褒めてあげることで「自己肯定感を育成」していく重要性を感じる。

<総括>

全24のアンケート項目の内、9項目が80%以上の肯定的な回答であった。昨年度の「12項目」と比較すると、3項目については、80%を若干下回ってしまった。このことを、本校の大きな課題として捉え、生徒への指導、働きかけを考えていく必要がある。ただ、学校生活に関する項目はほとんどの内容が肯定的であり、充実した学校生活を送っている様子が窺える。

その一方で、学習の振り返りや、発言力・粘り強さの育成など、日常生活の中で育成すべき生徒の資質・能力に関する授業づくりは依然としてさらに一歩進んだ働きかけが必要である。指導力の向上を目指すとともに、生徒の実態に合わせたアプローチを検討しつつ実践し、今後の学校運営に生かしていくことが重要である。

3 保護者のアンケートから

① 学校を訪問した、または参加・協力した行事等について（全10項目）

＜肯定的な回答が80%以上の項目＞昨年度6項目→本年度7項目

- ・わたしは、学校行事に積極的に参加していると思う。
- ・わたしは、子どもの生活リズムに気をつけ規則正しい生活をさせていると思う。
- ・わたしは、中学生としてふさわしいマナーなどを指導していると思う。
- ・わたしは、何事も子どもが自分でやり遂げられるように支えてあげていると思う。
- ・わたしは、思春期の子どもの心に寄り添い励ましていると思う。
- ・わたしは、地域で生きる子どもとして積極的に地域行事に参加させていると思う。
- ・私の家庭では、子どもの将来のことについて話す機会がよくあると思う。

＜肯定的な回答が60%以下の項目＞

- ・昨年度1項目→本年度0

＜数値的には現れないが心配な項目＞

- ・子どものネット利用やスマホ利用についてルールがない。30%
- ・机や周辺の整理整頓ができていない。34%

＜考察＞

アンケートの結果から各家庭で、中学生としてふさわしい生活の仕方や必要なルールやマナーにいて会話を交わし、親子のコミュニケーション並びに熱心な教育がなされていることが覗える。また、生徒の支えとなり寄り添い励ましている様子や地域との交流が図られていることが覗える。一方で、ネットやスマホの利用状況、机や周辺の整理整頓に課題が見られる。家庭環境が学習成果を左右するといわれており、その重要性も高いことから、家庭との同歩調の中で改善を図る必要がある。

② 学校生活・家庭での姿について（全4項目）

＜肯定的な回答が80%以上の項目＞

- ・わたしは、子供が学校に行くことを楽しみにしていると思う。
- ・わたしは、子供が集団生活に必要な決まりやマナーを守っていると思う。

＜肯定的な回答が60%以下の項目＞

- ・昨年度0→本年度0

＜考察＞

アンケートから、大多数の生徒達が学校でのびのびと、生き生き活動し、集団生活において大切な決まりやマナーを守りつつ、楽しく活動していることが覗える。

一方で、楽しみを見いだせない生徒がいることも明らかになっている。今後は今まで以上に注意深く子どもの様子を見守り、個に応じたきめ細やかな指導を行うことが必要となる。

③ 教職員の生徒および保護者との関係について（全5項目）

＜肯定的な回答が80%以上の項目＞

- ・わたしは、教職員が保護者とともに子供の成長のために協力してくれていると思う。
- ・わたしは、教職員が保護者に各種便り等で生徒の様子を適切に伝えていると思う。

＜肯定的な回答が60%以下の項目＞

- ・昨年度0→本年度0

＜考察＞

2項目において肯定的(80%以上)な回答となった。昨年度は4項目だったが、今年度はその中の2項目がわずかではあるが80%を下回る結果となってしまった。昨年度同様に取り組んできていたが、特に「生徒理解」「生徒への指導・支援」に関わる項目で80%以下となってしまったことを真摯に受け止め、教職員が生徒に寄り添い、適切な指導や支援に努め、生徒との好ましい関係を作ることに力を入れた教育活動をより意識していくことが重要である。特に、個々の生徒への対応や、生徒の学校生活の様子を情報提供など、保護者と教職員がともに生徒の成長を支えていると保護者に実感してもらえるような働きかけをしていくことで、より深い信頼関係を構築していくことも求められていると感じられる。

基礎学力の定着を図るための指導の工夫については、昨年度同様、他の項目に比べると数値が低くなっている。本年度も、生徒の実態に応じた指導に取り組んできたが、全生徒の学力の保障に向け、今まで以上に指導方法や指導体制を工夫し、個に応じた指導の充実を図っていくことが必要である。あわせて、教員による生徒理解の状況を否定的に捉えている保護者もいることから、さらに丁寧な対応と説明責任を果たし、教員の資質・能力の向上を進めることが必要となる。

学校評価保護者アンケートに記述のあった内容

●=改善が必要なご意見

「笛南中学校の教育について、ご意見ご感想等ありましたら自由に記述してください。」

- 桑葉祭を、今年は最後まで見させてもらいました。子供たちが中心になり、盛り上げている姿に感動しました。進行に手間取っているときも、先生方が温かい目で見守ってくださっていて、生徒たち主体で動くことを学ぶ、とてもいい機会になったと思います。今年度もあと少しですが、どうぞよろしく申し上げます。
- いつもありがとうございます。まだまだ不安定さはありますが、普通に過ごせるようフォローしていきます。宜しく願いいたします。

●授業参観など学校の生活が見えなくなってきたため、

- ①三者懇談など先生と話す機会の時には、先生の見解をハッキリききたい。「～だと思ふ」とか、子供に尋ねるのは、子供と先生との間で話が出来ていないと感じて気になりました。

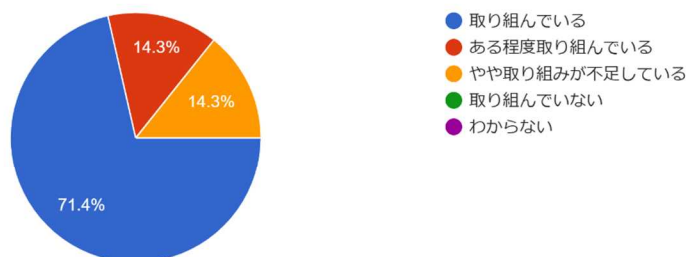
また、

- ②「相手が傷つく言葉を言う子供がいる」「傷ついたところが分からない子供がいる」のご承知下さいと言われましたが、学校の対応がわからず不安になりました。説明は統一して下さい

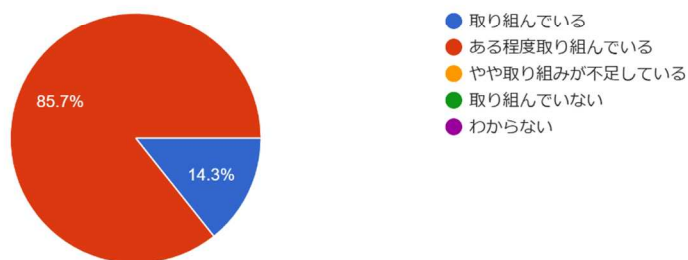
学校評価 教職員アンケート

◆自主学習ノート等により学習習慣の確立と、目標設定と見通し。振り返り場面を設定した授業改善に取り組んでいるか。【指導重点(1)に関わって】

質問1 学校として取り組んでいるか



質問2 あなたは取り組んでいるか



質問3 質問2で「取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」と回答した内容を箇条書きで簡単に記述してください。

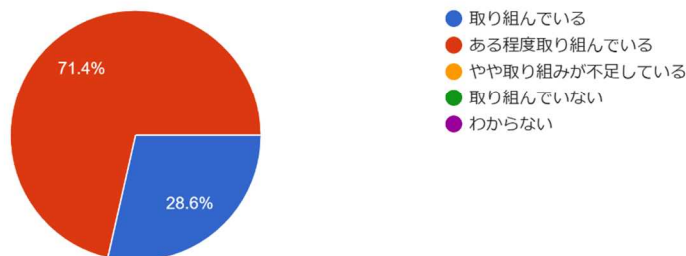
- ・学習習慣の確立という意味でも1年生の頃から徹底させてきた取り組みであり、毎日提出されている。何名か忘れる生徒ややってこない生徒がいるが、何らかの方法でその日の分の課題が提出される。桑の実学級の生徒も、毎日欠かさず取り組んでいる。
- ・実施状況を確認して支援している。
- ・毎日の自主学習を習慣としている。
- ・授業のめあての設定と作業の振り返りを行っている。
- ・自主学習ノートの取り組み 毎回ではないが目標設定と見通し、振り返りを入れるようにしている
- ・「教科」、「総合的な学習の時間」のワークシートなど見通しと振り返りができるように計画して学習に取り組んだ。「小集団」で取り組ませられるような題材の設定を行った。
- ・毎週火曜日と水曜日に生徒が自主学習をしたノートやワークを提出させている。授業プリントに「振り返り」の欄をもうけ、各授業ごとの終わりで生徒がその分野をまとめさせている。単元が変わるごとに、「学びの記録」というプリントを用いて、その単元でやる内容が関わってくる日常の疑問に学習前に答えてもらい、単元の学習後に復習と設問の答えを自分たちで考えてまとめさせている。

質問4 質問1の回答について、改善点や意見を記述してください。

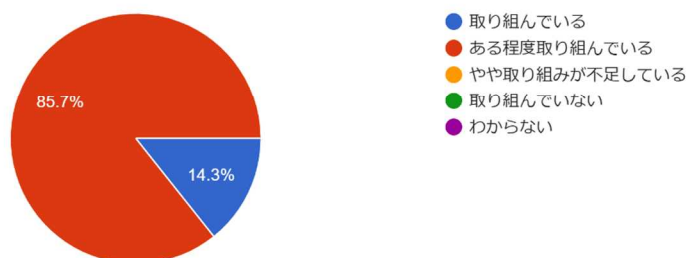
- ・どのクラスも同様に取り組むことで、成果につながる内容であると思う。
- ・授業改善に向けての研修や研究会への積極的な参加と校内への還元を図ること
- ・自主学習の提出には至っているが、内容が薄い生徒がいる。
- ・作業・実習についてはいいが、その他についてはみとりを含めて改善が必要と思う。
- ・自主学習ノートに取り組ませているがただやるだけではなく質にも拘って取り組ませていけるとよいと思います。
- ・各担任へのアプローチが不足しているため、自主学習や放課後学習会など、学年独自の取り組みにおいて担任から生徒に取り組ませるような喚起が不足している。
- ・生徒からは塾や家庭教師などで学習をした際に、どのように自主学習ノートを提出するかが質問として多かったため、適当なノートに学習した範囲を書いてくれば自主学習をしたと見なすと説明したが、実際に自主学習をしたかどうかが見えないのでどのように自主学習をしたか評価するのが難しい生徒がいる。

◆適切な生徒理解と居場所づくりを進め、「思いやる心」を持った道徳的实践力を身につけさせるとともに、学校生活の中で発揮させる場面を設定しているか。【指導重点(2)に関わって】

質問1 学校として取り組んでいるか



質問2 あなたは取り組んでいるか



質問3 質問2で「取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」と回答した内容を箇条書きで、簡単に記述してください。

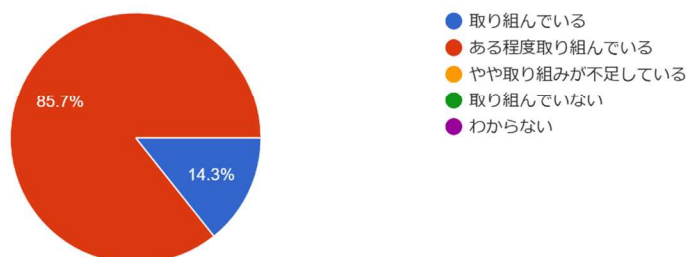
- ・一人一人の特性等を理解し、様々な面で早期対応を心掛けてきた。
- ・職員会議など校内で統一した共通理解と指導方針に基づき組織的に働いている。
- ・生徒の課題にあった教材を選び、道徳の時間に考えさせている
- ・生徒への声かけや話を聞くこと。「思いやり」がない場面では必ず生徒に声をかける。
- ・学級の中で1人1人に役割を与え、周りのことを考えながら活動させるように心がけました。
- ・授業や集会の折、通信等で「相手を思いやる」「人との関わりかた」「平和」について生徒と一緒に考えた。
- ・休みがちな生徒に対しての声かけや、保護者が安心して生徒を登校できるようにできる限り学校内においてできる支援を管理職と相談しながら行った。
- ・道徳の授業ではワークシートに書いてくれた良い意見やおもしろい意見を次の授業時に紹介している。

質問4 質問1の回答について、改善点や意見を記述してください。

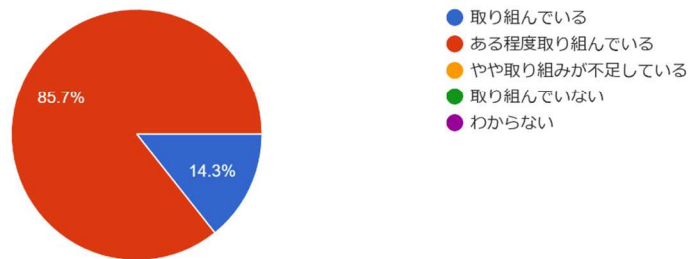
- ・教職員が常に連携を図り共通理解を図っていくことが大切。
- ・道徳の授業が日常の行動と結びつかないことがある
- ・共通理解の元、同一步調で取り組めたらと感ずることがある。
- ・個性の尊重を重視するようになったため自分中心の生徒が多くなったように感じます。もちろん自己肯定感は大切ですが、「思いやり」とバランス良く育てていけるとよいと思います。
- ・道徳の授業の改善や道徳の授業を互いに見合うことも必要であると感じます。2学期に実践していただいた、小後貫先生と渡辺先生による道徳の授業も新鮮でした。
- ・ここ最近では生徒会選挙の練習や面接練習で2、3年生の道徳が無かったことを生徒から聞いたので、道徳の授業ができていないと感じました。

◆安全・安心に関する知識を習得させ、自助・共助できる能力と態度を育成する場面を設定しているか。【指導重点(3)に関わって】

質問1 学校として取り組んでいるか



質問2 あなたは取り組んでいるか



質問3 質問2で「取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」と回答した内容を箇条書きで簡単に記述してください。

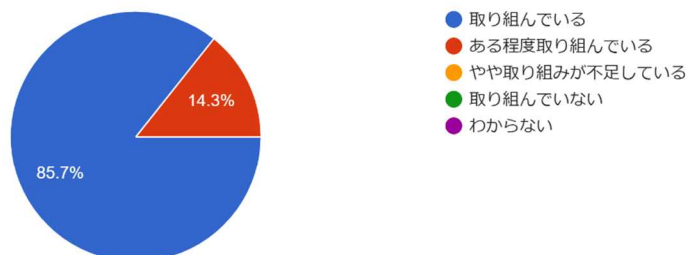
- ・日々の安心安全な生活や危険予測に関わる事柄について、時期を考えながら話をしたり、考えさせる場面を設定してる。また、教科の課題にそのようなテーマがある際には、活用している。
- ・地域と一層の連携を図り積極的に情報を発信していく。
- ・避難訓練の場面などで、過去の震災を振り返りながら指導している
- ・避難経路や適切な避難行動、事故が起こったときの対処などを確認している。
- ・保健体育での授業 避難訓練 道徳
- ・特に下校指導やヘルメットの着脱について生徒指導主事と連携しながら行えた。
- ・理科の授業では防災に関連のある内容だった場合（災害が多い）、その怖さやどのような対処法をするべきかを教えている。薬物乱用防止教室などの講習会を開いている。

質問4 質問1の回答について、改善点や意見を記述してください。

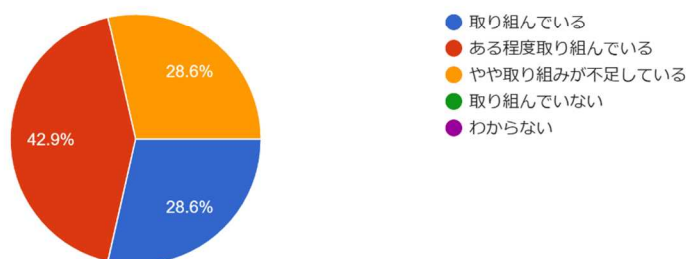
- ・新型コロナウイルス感染対策を行いながらの学校であるが、情報の発信と収集を的確に行うため、保護者や地域住民が教育活動の参加できる体制を創る。
- ・訓練に臨む気持ちを十分につくることができないことがある
- ・実際に起こったときに対処できるように訓練ができるといいが、やけどやケガについて授業内で行うことが時間的に厳しい。
- ・様々な場面で教えていけるとよいと思います。
- ・静岡の教育では防災がかなり重要視されており、大学でも基本的に全員参加の防災訓練がありました。それと比較すると、山梨県の防災教育が少なかったり、防災訓練の規模が小さかったりすると感じました。

◆個別の支援計画、指導計画を作成し、計画的に社会的な自立に向けた支援の場面を設定しているか。【指導重点(4)に関わって】

質問1 学校として取り組んでいるか



質問2 あなたは取り組んでいるか



質問3 質問2で「取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」と回答した内容を箇条書きで簡単に記述してください。

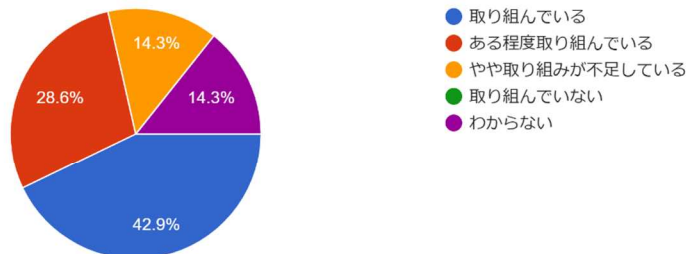
- ・特別支援学級の生徒はもちろんのこと、通常学級の生徒についても情報共有をし、それぞれの生徒への手立てについて検討している。
- ・個別の支援計画や指導計画を共有して、自立への支援を行っている。
- ・問題を抱える生徒に対して個別に対応している
- ・指導記録を作成している。記録を元に指導方針を立てている。
- ・個々の生徒の関係諸機関と連携したことを校内で共有化して支援している。生徒の実態に沿った教材の提示など特別支援学級の指導者同士共有化して実践できた。

質問4 質問1の回答について、改善点や意見を記述してください。

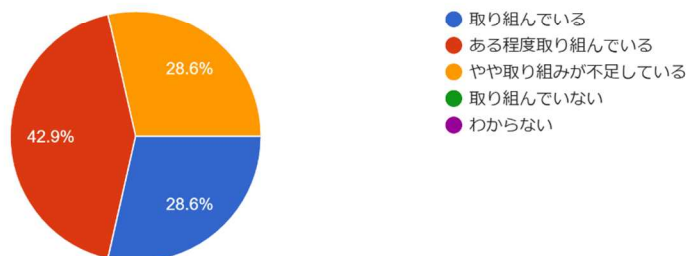
- ・定期的な支援に関する情報交換と支援計画に見直しを作成していく。
- ・対応について共通理解がされていない部分がある。
- ・共通理解をさらに進める。
- ・特別支援学級の生徒にとどまらず、支援の必要な生徒が多くなってきている。本校生徒の実態に合った支援の方法を学ぶ(インクルー教育)場をもうけても良いのかと感じた。
- ・桑の実Bの生徒に向けたテストの配慮などを行っているが、まだ国語と英語のみなので、理科もある程度考慮してテスト作成に臨みたいと思います。また、授業ではまだ余裕がなく、桑の実Bの生徒向けに別途プリントを作るなどができていないため、今後は対応をしていきたいです。

◆家庭や地域との連携、小中連携を進め、開かれた学校づくりを推進しているか。【指導重点(5)に関わって】

質問1 学校として取り組んでいるか



質問2 あなたは取り組んでいるか



質問3 質問2で「取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」と回答した内容を箇条書きで簡単に記述してください。

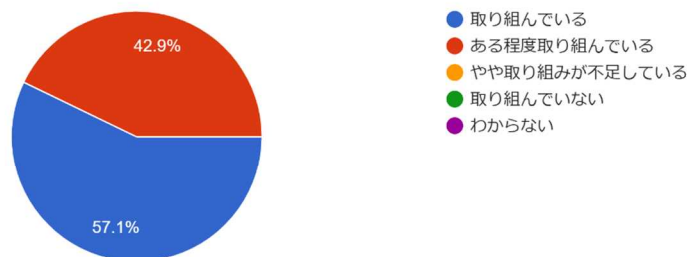
- ・小中合同での会議はなくなったが、必要に応じて小学校の先生と連絡を取り合っている。また、保護者からの要望には、積極的に応じている。
- ・定期的な小中の連携会議や情報の伝達を行っている。
- ・学年通信での情報発信 送迎の保護者との対話
- ・家庭への連絡 学級通信の発行
- ・総合的な学習の時間を通じて「郷土を愛する」気持ちが育めるような課題を提示し、学習に取り組んだ。

質問4 質問1の回答について、改善点や意見を記述してください。

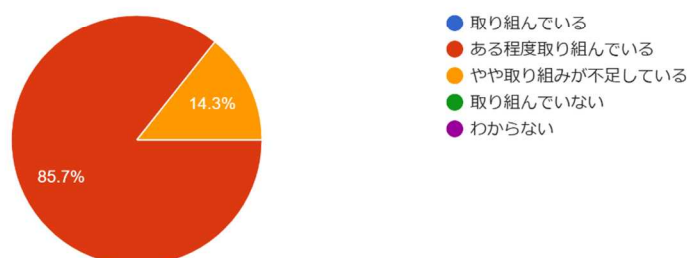
- ・学校行事への参加についてできるところから徐々に広げていく。
- ・今年度はコロナウイルスの影響でなかなか難しいことが多かったと思いますが、笛南中学校は保護者の協力や行事の参加率が高く連携できていると思います。
- ・コロナ禍で地域と連携した授業や職場体験ができなくなっているため、今後コロナが収束して安全になっていけば、家庭や地域との連携が増えていくと思います。

◆今日的な教育課題への対応を具体的に進めているか。【指導重点(6)に関わって】

質問1 学校として取り組んでいるか



質問2 あなたは取り組んでいるか



質問3 質問2で「取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」と回答した内容を箇条書きで簡単に記述してください。

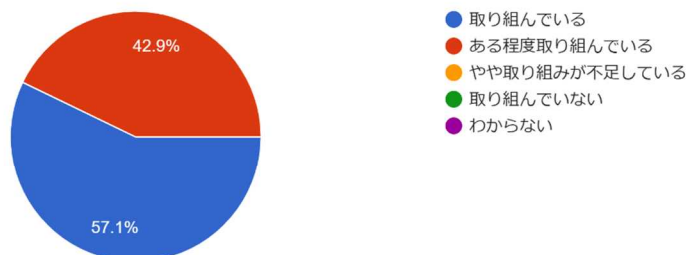
- ・授業において、生徒が主体的に取り組める内容を考え取り組んでいる。
- ・教頭や情報主任が国、県、市が作成している情報を提供している。教科担当は必要に応じて積極的に活用を行っている。
- ・校内研修会を通して、教員が考えたり研修したりする時間をとって共通理解をしているSNSへの対応や、クロームブックの取り扱いについて
- ・生徒が「主体的」に学ぶ意欲が喚起できるような教材を提示することができた。
- ・コロナ禍で実験があまりできなくなっているため、実験の動画や図や動画がないとわかりにくい単元は教師用指導書に付属しているソフトを用いて授業を行っている。

質問4 質問1の回答について、改善点や意見を記述してください。

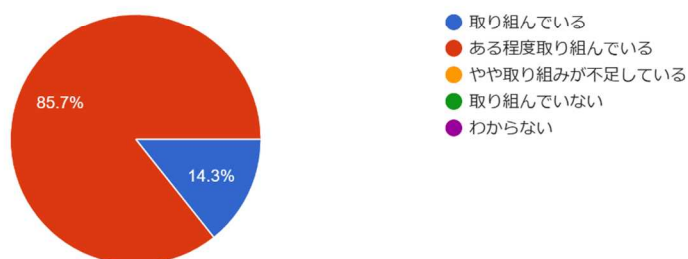
- ・各教科の振り返りシートを玄関に掲示するなど、全校体制で、主体的な学びにつながるための取り組みを進めることができたと思う。
- ・ICTの活用が授業にとって有効であり、効果的となっているかどうかの検証が必要。
- ・4月以降のPC持ち帰りについて対応する。
- ・目の前のことをこなすので精一杯になってしまかなか思うように取り組むことができていません。
- ・クロームブックを用いた授業が増えてきていてICTの活用が進んでいると感じます。ICTの活用が進むと普通の授業ではなかなか意見を言えない生徒の意見や考えを確認できるので、学習の評価をしやすくなると思います。自分の授業ではまだまだ活用できていないと感じるので、ジャムボードなどの活用方法などを学び、ICTをさらに活用した授業を展開していきたいと思います。

◆学校長が示した学校経営方針の基づいて学校運営がなされているか。【指導重点(1)～(6)を総括して評価してください】

質問1 学校として取り組んでいるか



質問2 あなたは取り組んでいるか



質問3 質問2で「取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」と回答した内容を箇条書きで簡単に記述してください。

- ・適切な教育課程の編成や授業改善への取り組み、また、家庭や生徒との対応など、職員が協力し合って日々の課題と向き合ってきたと思う。
- ・職員会議や校内研で取り組み状況について確認し、成果と課題を明らかにしていく。
- ・生徒に対してよりよい教育活動ができるよう、日々取り組んでいると思います。
- ・生徒指導についての情報発信や計画立案を行う。いじめや不登校等の早期発見・早期対応を行う。授業においてP D C Aサイクルによる評価と改善に努める。
- ・主体的・対話的で深い学びを意識した授業作り 生徒会活動、部活動の充実
- ・諸問題について他の教職員と共有し学校全体で取り組んでいる。
- ・思考能力・表現力を高め、学力向上となるような授業が多い。S Cの活用やいじめアンケートなどができている。

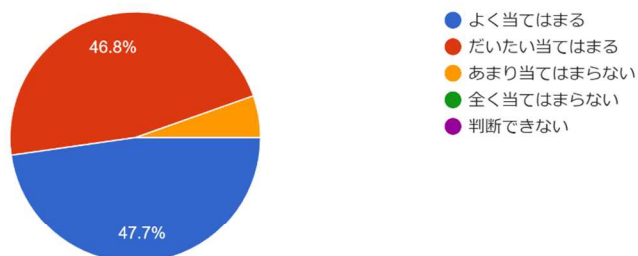
質問4 質問1の回答について、改善点や意見を記述してください。

- ・多くの先生方が、笛南中のために…で、動いていました。共通理解のもと、日々の課題に取り組めるといいと思います。
- ・感染症対策のため、学校生活の変更を余儀なくされた。不易と流行を取り入れながら大幅に変えていくべきことも求められている。
- ・学級通信などでも学校経営方針についての内容を発信するとより周知されると思う。
- ・全体的に意識しながら取り組んでいると思います。今年度の課題点を来年度改善していけるとさらによりよい笛南中学校になっていくと思います。
- ・基本的には方針に沿った運営がされていると感じます。

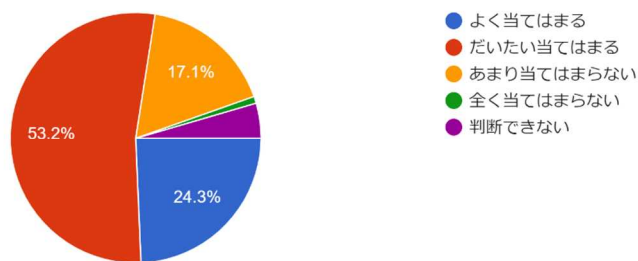
学校評価 生徒用アンケート

◆授業と学習についての質問です。

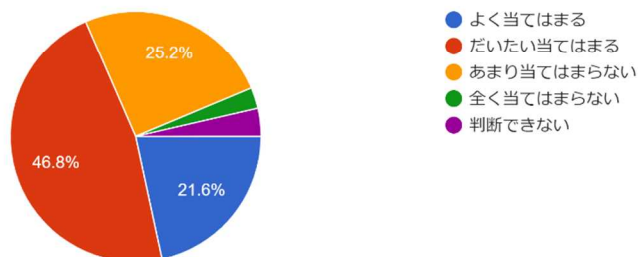
質問1 わたしは、授業前に学習用具を準備していると思う。



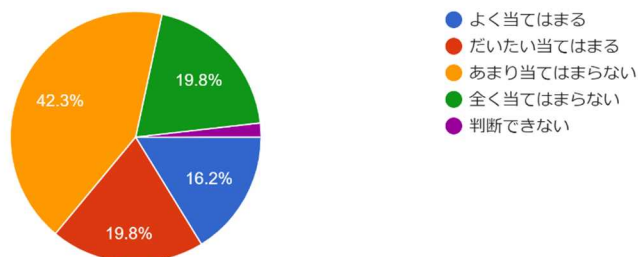
質問2 わたしは、授業の始めにこの時間に達成する目標がわかっている。



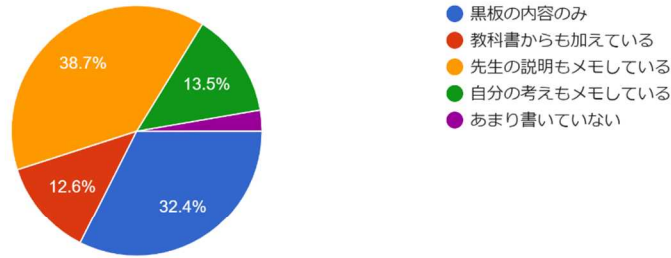
質問3 わたしは、授業で話し合いや自分の考えをまとめる活動が多いと思う。



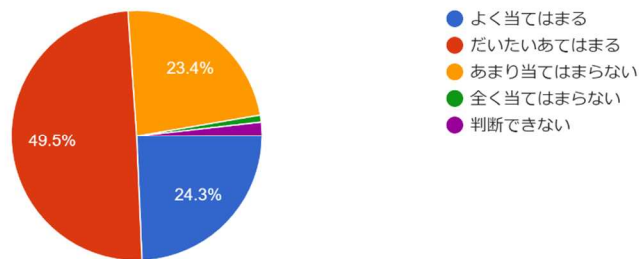
質問4 わたしは、積極的に手を上げたり意見を言ったりしていると思う。



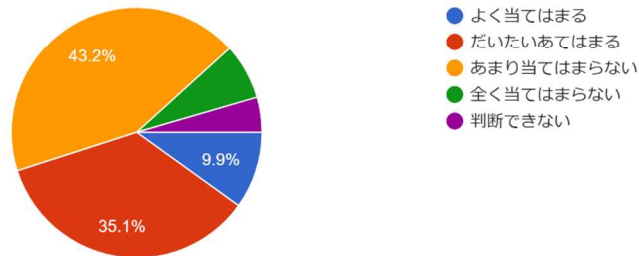
質問5 わたしは、授業ノートに書いていることは。



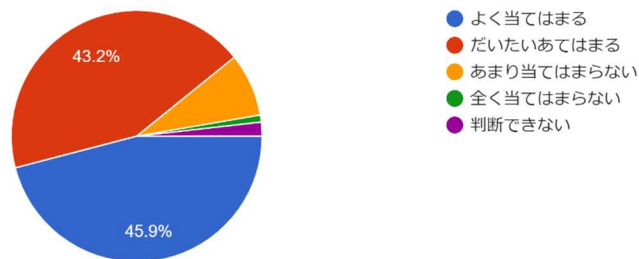
質問6 わたしは、難しいことでもあきらめずに取り組んでいると思う。



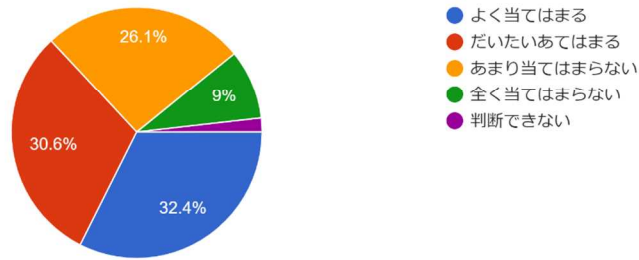
質問7 わたしは、授業の終わりに自分の目標を達成できたか確認していると思う。



質問8 わたしは、授業で学んだことは社会に出てから役に立つと思う。

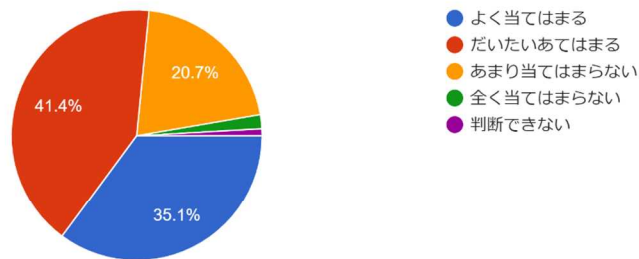


質問9 わたしは、400字原稿用紙で2～3枚くらいの作文は書けると思う。

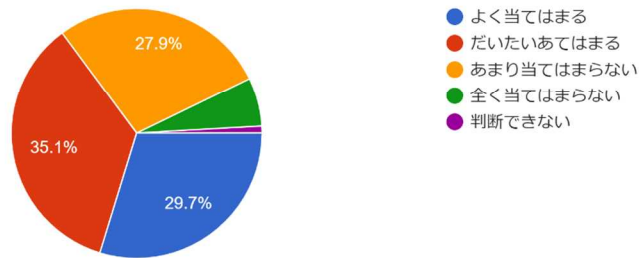


◆家庭学習についての質問です。

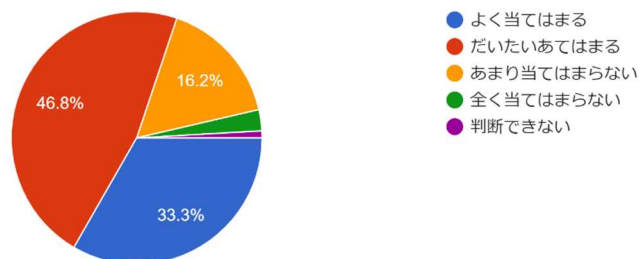
質問10 わたしは、家庭で宿題を必ずしていると思う。



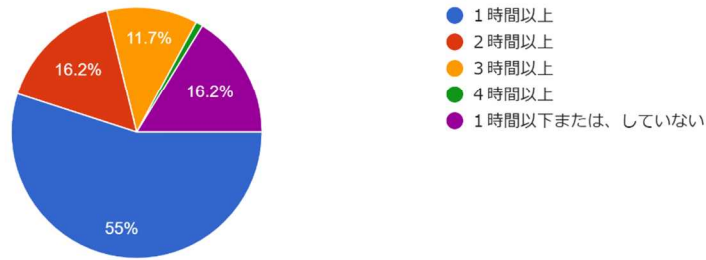
質問11 わたしは、自主学習ノートなど、塾以外に自分から家庭学習をしていると思う。



質問12 わたしは、定期テスト前の学習をきちんとしていると思う。

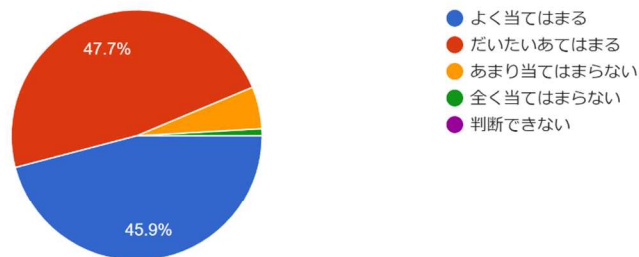


質問 1 3 わたしは、家庭学習を 1 日平均これくらいやっていると思う。

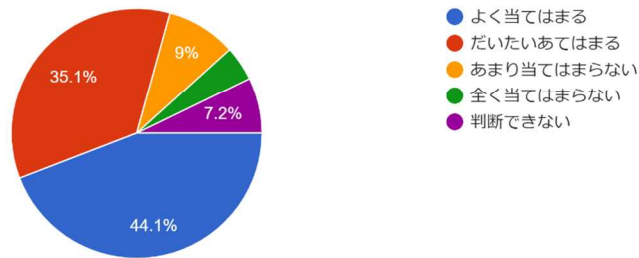


◆学校生活についての質問です。

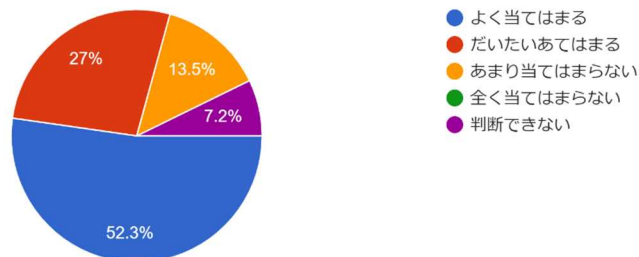
質問 1 4 わたしは、学級での係や清掃分担で良い仕事になるように取り組んでいると思う。



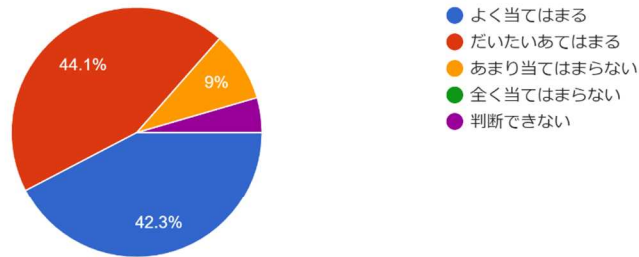
質問 1 5 わたしは、学級で悪口やいやなことを言ったり言われたりすることがないと思う。



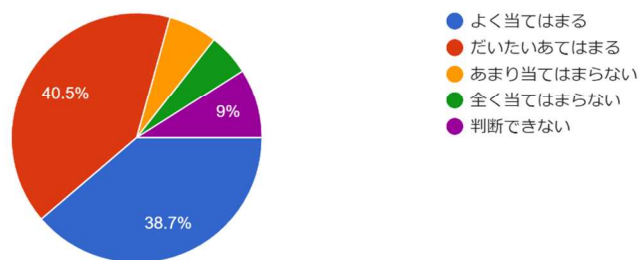
質問 1 6 わたしは、うそをついたり自分だけが得するようなことをしないようにしていると思う。



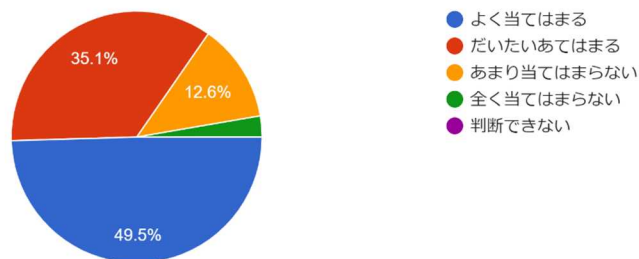
質問 1 7 わたしは、困っている人やできない人に協力したり助けたりしていると思う。



質問 1 8 わたしは、困ったことがあっても先生が助けてくれたり助言してくれたりすると思う。

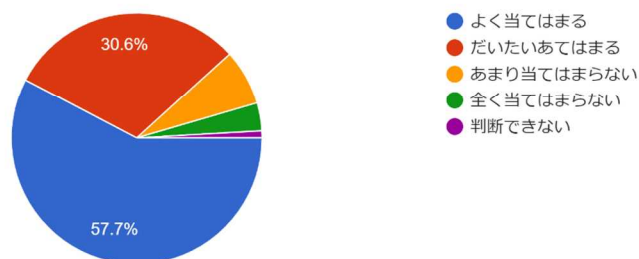


質問 1 9 わたしは、学校へ行くのが楽しいと思う。

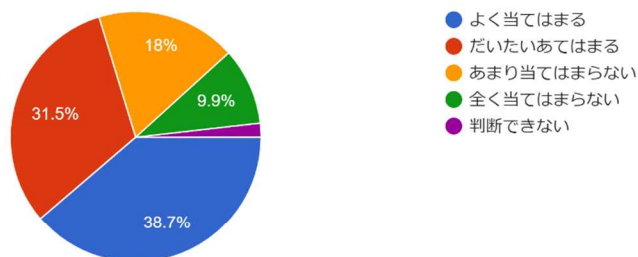


◆家庭生活についての質問です。

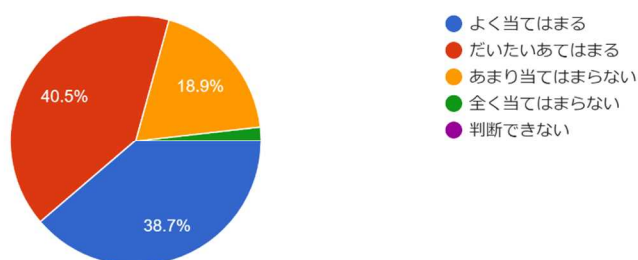
質問 2 0 わたしは、家庭でいつも明日の学習の準備をしていると思う。



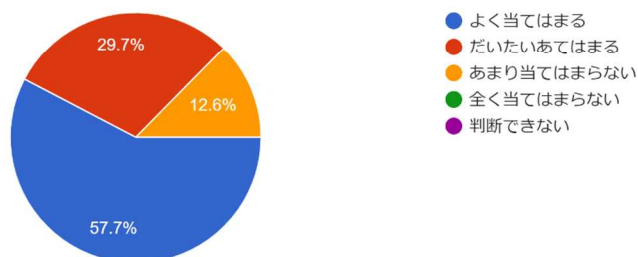
質問 2 1 わたしは、毎朝自分で起きていると思う。



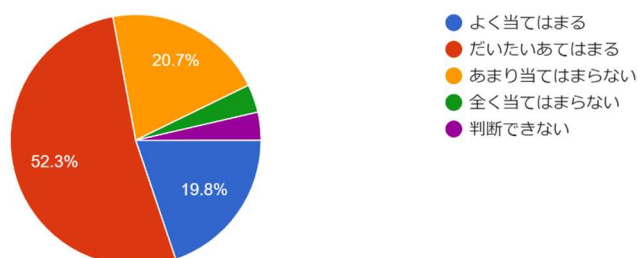
質問 2 2 わたしは、家族の一員として手伝いや仕事をしていると思う。



質問 2 3 わたしは、家族とたくさん話をする機会があると思う。



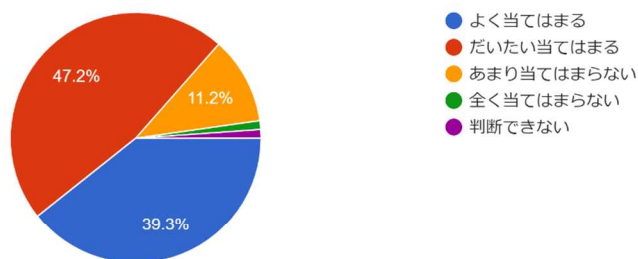
質問 2 4 わたしは、両親に褒められることが多いと思う。



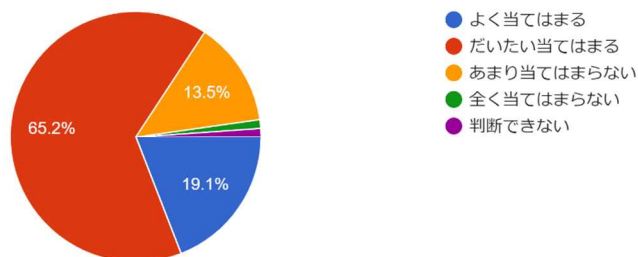
学校評価 保護者用アンケート

◆今年度、学校を訪問された、または参加・協力した行事等について回答してください。

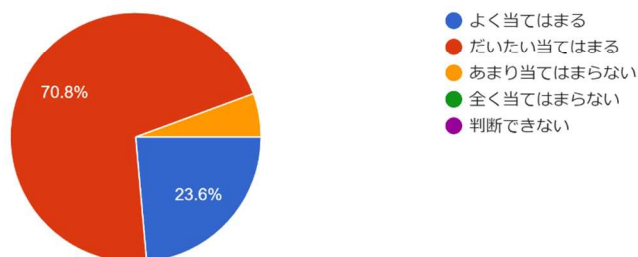
質問1 私は、授業参観等の学校行事に積極的に参加していると思う。



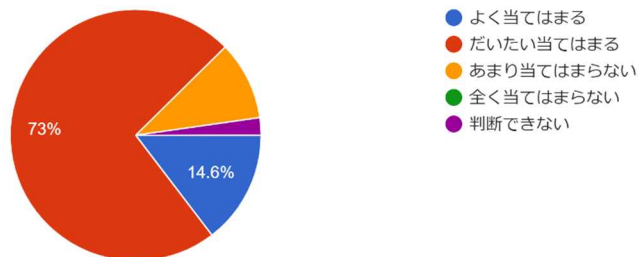
質問2 私は、子どもの生活リズムに気をつけ、規則正しい生活をさせていると思う。



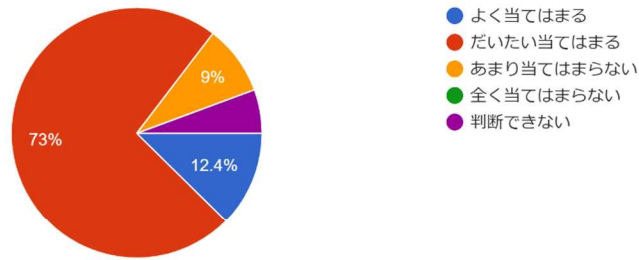
質問3 私は、中学生としてふさわしいマナーなどを指導していると思う。



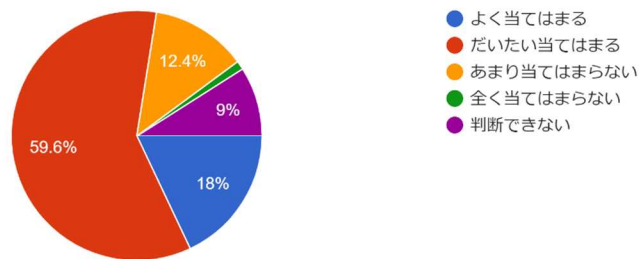
質問4 私は、何事も子どもは自分でやり遂げられるように支えてあげていると思う。



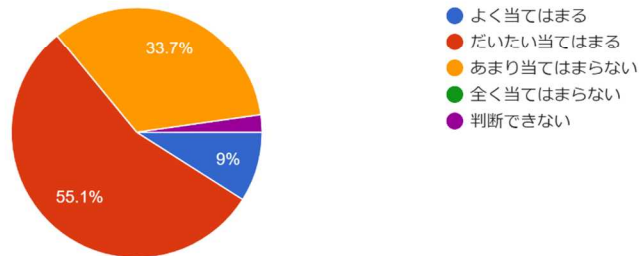
質問5 私は、思春期の子どもに寄り添い、励ましていると思う。



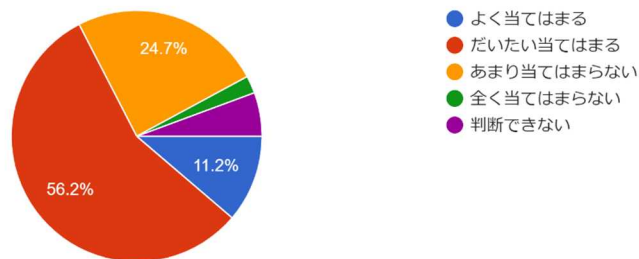
質問6 私は、地域で生きる子どもとして積極的に地域行事へ参加させていると思う。



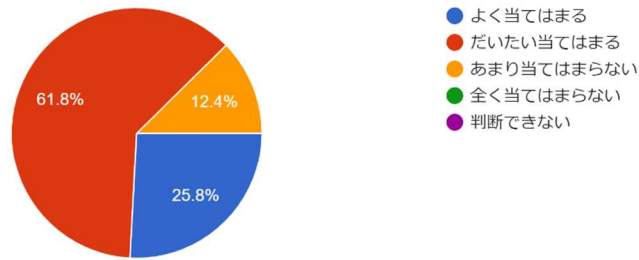
質問7 私は、子どもが学習に集中できるように、机や周辺の整理をさせていると思う。



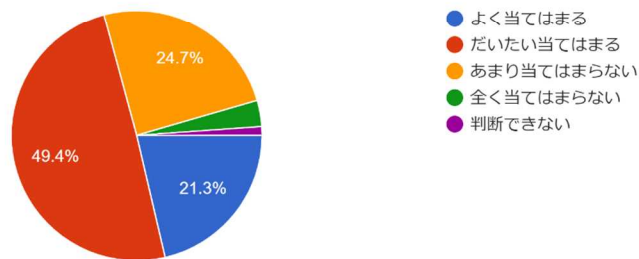
質問8 私は、学校の自主学習の取り組みについて協力して励ましていると思う。



質問9 私の家庭では、子どもと将来のことについて話す機会がよくあると思う。

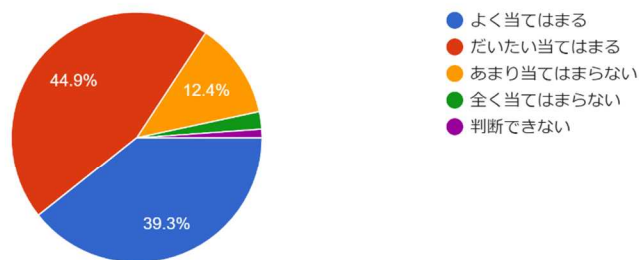


質問10 私の家庭では、子どものネット利用やスマホ利用についてのルールがある。

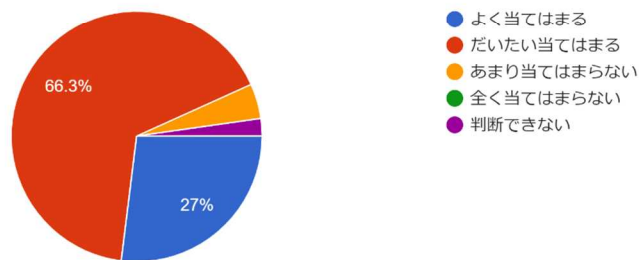


◆生徒の学校生活・家庭での姿を見てご回答ください。

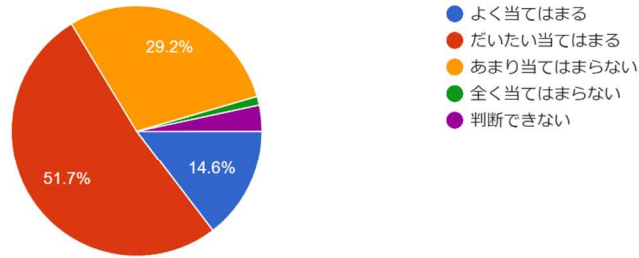
質問11 私は、子どもが学校に行くことを楽しみにしていると思う。



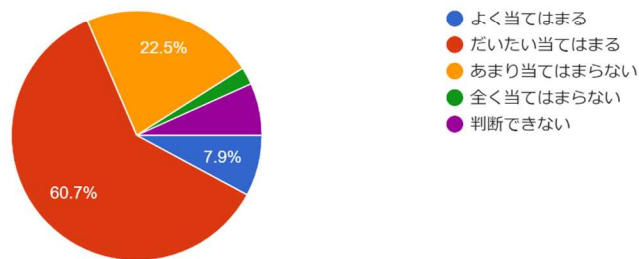
質問12 私は、子どもが集団生活に必要な決まりやマナーを守っていると思う。



質問 1 3 私は、子どもが学習内容を理解しようと意欲的に学んでいると思う。



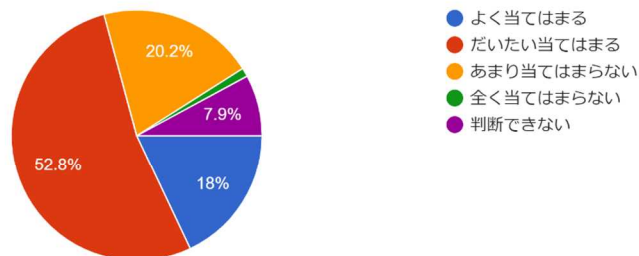
質問 1 4 私は、学校で学んだことが家庭生活の中でも見られるようになってきていると思う。



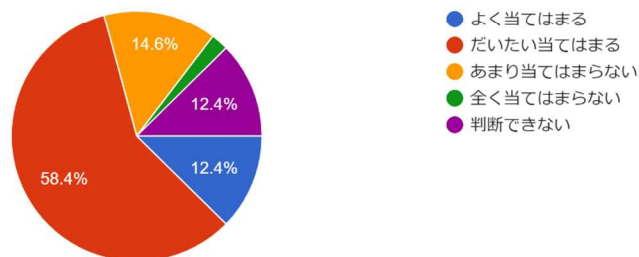
◆教職員

の生徒および保護者との関係はいかがでしょうか。

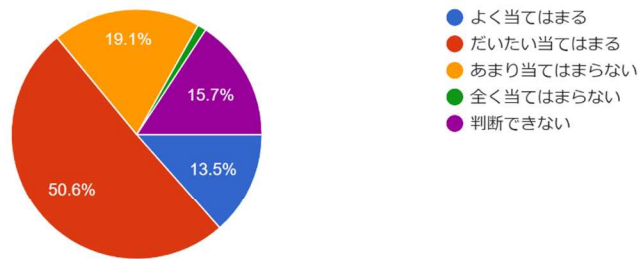
質問 1 5 私は、教職員が生徒への声かけを大切にし、生徒理解に努めていると思う。



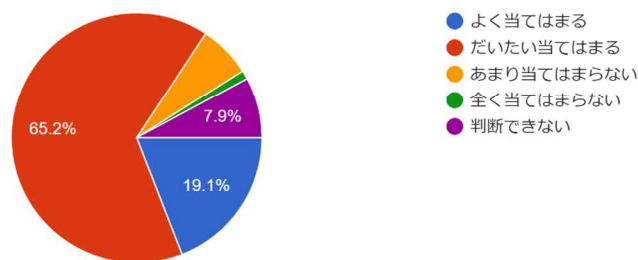
質問 1 6 私は、教職員が規範を示し、社会の一員...につけるべき内容を適切に指導していると思う。



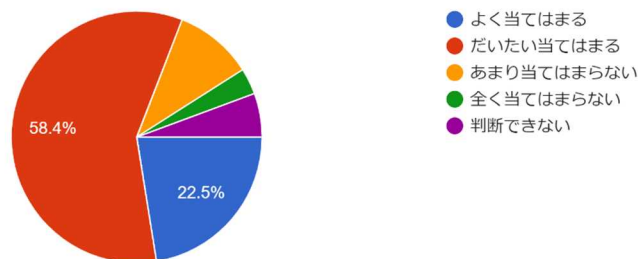
質問17 私は、教職員が一人ひとりの生徒の理解...定着を図るために指導の工夫をしていると思う。



質問18 私は、教職員が保護者とともに子どもの成長のために協力してくれていると思う。



質問19 私は、教職員が保護者に「おたより」等で生徒の様子を適切に伝えてくれていると思う。



質問20 笛南中学校の教育について、ご意見ご感想等ありましたら自由に記述してください。

○桑葉祭を、今年は最後まで見させてもらいました。子供たちが中心になり、盛り上げている姿に感動しました。進行に手間取っているときも、先生方が温かい目で見守ってくださっていて、生徒たち主体で動くことを学ぶ、とてもいい機会になったと思います。今年度もあと少しですが、どうぞよろしくお願いいたします。

○授業参観など学校の生活が見えなくなって来ているため、①三者懇談など先生と話す機会の時には、先生の見解をハッキリききたい。だと思ったり、子供に尋ねるのは、子供と先生が話が出来ていないと感じて気になりました。また、②相手が傷つく言葉を使う子供がいる、傷ついたところが分からない子供がいるのでご承知下さいと言われましたが、学校の対応がわからず不安になりました。説明は統一して下さい

○いつもありがとうございます。まだまだ不安定さはありますが、普通に過ごせるようフォローしていきます。宜しくお願いいたします。